

災害に対する心得を！

先月下旬、記録的な大雨に襲われた山口県防府市や九州北部地方では、土石流や増水により、多くの方が亡くなりました。

我が国は、地震災害のほか、台風の通り道にあるため、特に夏から秋にかけて風水害が多く発生し、常に自然災害の脅威にさらされています。

町民の皆さんは、今年5月に配布した「那珂川町防災マップ」をご覧ください。この防災マップを見れば、自分の居住する地区にどういった危険箇所があるのか、ひと目でわかります。これを参考に万が一、災害が発生した場合の対応について、ご家族で話し合ってみてください。

「災害は忘れた頃にやってくる」とよく言われます。災害による被害を最小限に抑えるためには、日頃の災害に対する心構えが重要です。

避難路の心得

自宅の近くにどんな避難施設があるのか確認して下さい。家族みんなで避難施設まで歩いて、安全で避難しやすい道を探してみましょう。また、避難にかかる時間を把握して

おきましょう。

災害時避難持出品の準備

避難のときに持ち出す荷物は必要最小限にし、置き場所を決めて持ち出し袋にまとめおきましょう。また、内容を定期的に確認しておきましょう。（左記の災害時避難持出品リストを参考にしてください）

自主的な避難準備

雨の降り方がいつもと違うと感じたら、ラジオ、テレビなどの最新の気象情報、災害情報に注意しましょう。また、そのときにいる場所の周辺で危険を感じたら（次ページ参照）自主的に避難準備を始めましょう。

避難の呼びかけに注意を

那珂川町では、皆さんの避難が必要と判断したときは、音声告知放送防災行政無線、サイレン、広報車、ケーブ

ルテレビ等、あらゆる手段で避難の呼びかけを行います。

避難するときには

ガスの元栓を閉め、タバコなどの火の始末をし、戸締まりを確認しましょう。貴重品や災害時避難持出品を忘れずに。また、親戚や知人などに避難することを連絡しておきましょう。

お年寄りや障害者の方などの避難に協力しましょう

避難するときは、隣近所に

声をかけ複数で避難しましょう。また、お年寄りや身体の不自由な方、子どもなどの避難に協力しましょう。

靴は運動靴、頭には帽子・ヘルメットなどを

冠水した道路はマンホールのふたが外れていたり、足元が見えないため、非常に危険です。手をつないで、先頭の方は長い棒などで確認しながら進みましょう。頭は、帽子・ヘルメット・防災頭巾などで保護しましょう。

災害時避難持出品リスト

皆さんのご家庭では、災害に対する備えは十分ですか？ 日ごろからの備えが、いざというときあなたの命を救います。事前の準備と定期的な点検、この機会にぜひ心掛けてください。また、緊急時の連絡方法と連絡先、非常持出袋の置き場所などについて、普段から家族で話し合い、災害に備えましょう。

①非常持出品（1次持出品）

避難するとき、最初に持ち出すべき、必要最小限の物品で、被災時、非常時の**最初の1日**をしのぐための物品です。ほかのものは避難後、安全を確認できてから取り戻ることも可能です。持ち出しやすいよう袋に入れて、防災のために必ず準備してみてください。

貴重品

- 現金 ●預貯金通帳
- 認め印 ●免許証
- 権利証書
- 健康保険証 など

非常食品

- 調理せず食べられる食品（乾パン・缶詰・栄養補助食品・ドライフーズなど）
- 飲料水（缶またはペットボトルなど）
- ※乳幼児・病人用缶詰（離乳食・レトルト粥など）

携帯ラジオ・懐中電灯

- 予備電池は多めに用意
- 懐中電灯は、できれば1人に1つ

応急医薬品

- 絆創膏 ●傷薬 ●包帯 ●胃腸薬
- 鎮痛薬 ●解熱剤 ●消毒薬 など
- ※持病のある人は常備薬

その他の生活用品

- 肌着類 ●軍手 ●タオル
- ティッシュペーパー ●ビニール袋
- 生理用品 ●紙おむつ など

②非常備蓄品（2次持出品）

避難した後で少し余裕がでてから安全を確認して自宅へ戻り、避難所に持ち出したり、または自宅で避難生活を送る上で必要なものです。災害復旧までの数日間（最低3日間）を自足できるよう準備しておきましょう。

飲料水

- 1人1日3リットルを目安に準備。缶入りやペットボトルのミネラルウォーターを。

非常食品

- 乾パン ●缶詰 ●レトルト食品
- 栄養補助食品 ●アルファ米
- ドライフーズ ●インスタント食品
- 梅干し ●菓子類（チョコレート・飴など） ●調味料 など

燃料

- 卓上コンロ
- 携帯コンロ
- 固形燃料 など

その他の生活用品

- 生活用水 ●毛布 ●寝袋 ●洗面用具
- ポリタンク ●鍋 ●やかん ●バケツ
- トイレトペーパー ●使い捨てカイロ
- ろうそく ●さらし ●ロープ
- 工具（パール・スコップなど）
- ドライシャンプー ●新聞紙（燃料・防寒用）
- ビニールシート（敷物・雨よけ）
- 布製ガムテープ（荷物の整理・止血・ガラスの補修）
- キッチン用ラップ（止血・汚れた血にかぶせて使用）
- ペットフード ●自転車 など

9月1日は「防災の日」

風水害に対する心得

風水害対策の基本は情報収集から

台風や豪雨は、襲来時期や規模をある程度予測することができます。日頃から天気予報を気にかけ、注意が必要なときにはテレビやインターネットで最新の情報を収集するようにしましょう。注意報は何か「災害」が起こる恐れのあるときに、警報は「重大な災害」が起こる恐れがあるときに発表されます。

●台風

雨や風が強くなってから行動するのはとても危険です。台風の接近が予測されたときは早めに行動し準備しましょう。



●集中豪雨

集中豪雨とは、短時間のうちに狭い地域に集中して降る豪雨のことです。発生の予測は難しく、急激に状況が変化するため、少しでも異常や危険を感じたら、避難するようにしましょう。



雨の強さと降り方

1時間雨量と 予報用語	1時間に10~20mm未満	1時間に20~30mm未満	1時間に30~50mm未満	1時間に50~80mm未満	1時間に80mm以上
	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
人が受けるイメージ	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る (ゴーゴーと降り続く)	息苦しくなるような圧迫感があり、また恐怖を感じる
人への影響	地面からの跳ね返りで足元が濡れる	傘をさしていても濡れる		傘は全く役に立たなくなる	
屋内(木造住宅の場合)	雨の音で話し声が良く聞き取れない				
屋外の様子	地面一面に水たまりができる		道路が川ようになる	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	
車に乗っていて	視界が悪くなる	ワイパーを早くしても見づらい	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる	車の運転は危険	
災害発生状況	長く続く時は、注意が必要	側溝や下水、小さな川があふれ、小規模の崖崩れが起こる	山崩れ・崖崩れが起きやすくなり危険区域では避難の準備が必要	土石流が起こりやすく多くの災害が発生する	大規模な災害が発生するおそれ強く、厳重な警戒が必要

注意や警戒を呼びかけるため、宇都宮地方気象台から大雨注意報や大雨警報が発表されることがありますので、十分ご注意ください。

土砂災害の種類と前兆現象

種類	がけ崩れ	土石流	地すべり
災害の状況	地面にしみこんだ水が土の抵抗力を弱め、斜面が突然崩れ落ちる現象です。 人家の近くでも多く発生します。急な斜面では大雨のとき注意が必要です。 	谷や斜面にたまった土砂などが、大雨による水と一緒に一気に流れ出す現象です。 強い力と速いスピードで、進行方向にあるものを次々とのみこみ、破壊していきます。 	地盤の弱い土地に大雨が降り、地下水の上昇にともなって斜面全体が下方へすべる現象です。 一度に広い範囲で起こるので、大きな被害をおよぼします。
土砂災害の前兆現象	<ul style="list-style-type: none"> ●がけに割れ目が見える ●がけから小石がパラパラと落ちる ●斜面がはらみだす ●表面流が生じる ●がけから水が噴き出す ●湧水が濁りだす ●樹木が傾く ●樹木の根が切れる音がする 	<ul style="list-style-type: none"> ●溪流付近の斜面が崩れだす ●落石が生じる ●川の水が異常に濁る ●雨が降り続けているのに川の水位が下がる ●土砂が流出する ●溪流内に火花が見える ●地鳴りがする 	<ul style="list-style-type: none"> ●地面にひび割れができる ●地面の一部が落ち込んだり盛り上がりたりする ●沢や井戸の水が濁る ●斜面から水が噴き出す ●池や沼の水かさ急減する ●樹木が傾く ●家やよう壁に亀裂が入る ●よう壁や電柱が傾く